

井上茂彦さん（高知市）

南国市初の保父さんとして、大塚保育所に勤務して5年目の井上さん。毎日子供たちに囲まれて、忙しいながらも楽しい毎日を送っています。



保母の資格を取るのに苦労しました。一度はあきらめかけたこともあるんですよ。まわりの人の励ましがあったので今の自分があるんです。ピアノが趣味なんです。保育所の盆踊りや発表会の曲な

ど、自分で作れるので役に立つものなんです。バドミントンが自分のストレス解消法。今までやったスポーツの中で一番おもしろい。社会人の大会にも出て、真剣に取り組んでいます。



廣田さわさん（高知市）

今年「門出のまつり」で、初めて女官にふんした廣田さん。バイタリティーあふれる明朗活発な高校3年生です。

舞台では、まるでおひな様になった気分でした。普段着ることのできない衣装を着、全然別の自分になれる。本当に貴重な体験をさせていただいたと思います。趣味はものを作ること。雑貨店で欲しいものを見つけたら自分で作れるかどうかまずチャレンジ。手足が動くくまのぬいぐるみや、針金でできたカゴ。他にもたくさん作ったんです。これからもいろんなものを作っていきたいな！

戦後の解放運動・教育・行政が
どのように行われたか

②

同和对策審議会答申③

心理的差別と実態的差別を解消していくためには、同対審答申では次のようなことが大切だと指摘しています。
「……これらの市民的権利と自由のうち、職業選択の自由すなわち就職の機会均等が完全に保障されていないことが特に重大である。なぜなら、歴史をかえりみても、同和地区住民がその時代における主要産業の生産過程から疎外され、賤業とされる雑業に従事していた事が社会的地位の上昇と解放への道を阻む要因となったのであり、このことは現代社会においても変わらないからである」
そして、わが国特有の「二重構造」が就職の機会均等を阻む大きな原因だと指摘しています。
「二重構造」は産業経済の仕組みによく現われています。わが国では、近代的で合理的な大企業がある一方、遅れた中小企業や零細農業があり

ます。この二つの間には、生産性や給料、労働条件などに大きな格差があり、後者はいずれの面でも劣っています。このような構造は、そっくりそのまま、社会的構造に反映しています。わが国は、一面では近代的で民主的な面を保持していますが、他面では古い封建的な関係が残っています。まず、家柄や格式を重んじたり、自己主張をすること、各種団体の派閥における親分子分の結合など、社会的

同和教育
シリーズ

いたるところに身分の上下と支配服従の関係がみられます。また、昔ながらの迷信や因習にしばられています。その中で、人びとは個人として独立せず、目目と考え行動することを妨げられています。
同和地区の人々は、このような産業・社会・文化の二重構造の最底辺に位置づけられ、悪い労働条件と低賃金の労働者として、差別と貧困のままに放置されたきたのです。
「したがって同和地区住民に就職と教育の機会均等を完全に保障し、同和地区に滞留する停滞的過剰人口を近代的な主要産業の生産過程に導入することにより生活の安定と地位の向上をはかることが、同和问题解決の中心的課題である」と明記しています。
答申の第三部「同和对策の具体案」では、同和对策は、「生活環境の改善」、「社会福祉の充実」、「産業職業の安定」、「教育文化の向上及び人権擁護」等の総合対策でなければならぬと述べており、特に次の点に留意すべき点として
①社会的、経済的、文化的に同和地区の生活水準の向上をはかり、一般地区との格差をなくすことが必要
②地区住民に対する差別的偏見を根絶するため、学校教育、社会教育を通じて、同和教育の徹底をはかり、人権擁護活動を活発にやらなければならない
と述べています。